

放課後等デイサービス フォーリーフ 藤が丘校 保護者向け 自己評価 集計表

H31年3月

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	合計	項目に対する現状と改善点
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	7	2	30	机を活用して落ち着いて学習、レクリエーションができるようにしています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	24	3	3	30	職員の名札に資格を入れていますが、職員のプロフィールを年度初めにお知らせできるようにしていきます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	22	6	2	30	玄関、トイレなどに段差があるので利用者の状況に合わせて介助をしています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 *1が作成されているか	30	0	0	30	保護者にアセスメントをとり、職員間で会議を行い、課題と支援内容を考えて作成しています。
	5 活動プログラム *2が固定化しないよう工夫されているか	26	4	0	30	日々、レクリエーションの時間を作り、指導員の工夫のもと、多様な内容で行っています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	15	10	5	30	年に数回、レクで児童館へ出かける事があります。継続していきます。
保護者への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	26	3	1	30	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	24	5	1	30	連絡帳や送迎の際にコミュニケーションを取るようにはしていますが、会えない方や相談の有る方と面談や電話で話をする機会を作っていくようにしています。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	23	5	2	30	面談や電話相談など、より保護者様のお悩みなどに寄り添えるよう体制を整備します。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	16	12	2	30	周知出来ない方、お仕事などで参加出来ない方もいらっしゃるので機会の増加など検討します。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	22	8	0	30	苦情等については、社内でも共有し、対応と改善策を協議しております。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	27	3	0	30	ワークショップを開催しています。毎月請求書と一緒に、ワークショップの案内を郵送しています。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	28	2	0	30	
	14 個人情報に十分注意しているか	26	4	0	30	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	25	4	1	30	緊急時対応については、契約時にお伝えしておりますが、その他については今後、周知・説明を行えるよう改善します。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	21	5	4	30	毎月災害訓練や話し合いを行っています。周知できるように会報等に記載します。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	28	1	1	30	楽しみに来ていただけるよう、活動内容をより工夫していきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	27	3	0	30	満足とお声も頂けておりますが、スタッフの知識・スキルの向上を今後も心がけより満足して頂ける支援を行えるよう努力して参ります。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス フォーリーフ 藤が丘校 事業者向け 自己評価 集計表

H31年3月

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	合計	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	2	0	4	レクなどで広いスペースが必要な時は机を動かして対応しています。
	2 職員の配置数は適切であるか	2	2	0	4	運営基準は満たしていますが、手厚い支援ができるよう有資格者の配置を充実させていきます。送迎時にも施設内のスタッフが充実するよう配置します。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	3	0	4	玄関、トイレなどに段差があるので利用者の状況に合わせて介助をしています。
業務 改善	4 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	1	0	4	定期的に会議や研修などを行っています。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0	0	4	自己評価表以外にも、新規事業所での療育内容、イベントの感想などアンケートにご協力頂き、ニーズの把握や改善に活用しています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1	0	4	事業所ホームページ、名古屋市子ども発達支援サイト「すてっぷサポート」に公開しています。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	2	1	4	現在は外部評価は行っておりません。今後、導入を検討します。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	0	0	4	基幹相談支援センターからの各種案内、外部講師への依頼などをもとに職員への研修機会を確保しています。
適切 な 支 援 の 提 供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0	4	支援計画の作成時には児発管と指導員でミーティングを行います。保護者様のニーズと利用時の様子を踏まえて個別支援計画の作成を行っています。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	0	0	4	日本版 Vineland-II、S-M 社会生活能力検査を活用しています。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	0	4	全職員で月間の行事予定を毎月考えています。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	0	4	同じねらいでも、内容を変えたり、難易度を調整しています。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	0	0	4	各利用者の課題を踏まえて、平日、休日、長期休暇中の活動内容を考案しています。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0	4	学習面ではプリント類などで個別で難易度の調整をして、必要に応じてマンツーマン指導を行っています。同じ工作などでも 3段階ほどの難易度に分けて調整をしている。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0	0	4	朝礼で毎回行っています。パートスタッフが揃った時点で、昼礼を行う
16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	0	0	4	終礼で、毎回行っています。	
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	0	4	全利用者の記録を毎回取っています。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	0	4	計画の見直しについては、定期的にモニタリング会議を開催し行っています。
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0	4	様々な視点から自立につながる活動を考案しています。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	0	0	4	児童発達支援管理責任者が毎回参加をしています。
	21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	0	4	0	4	様子の気になる利用者については、担任の先生に事業所の様子を伝えたり、学校の様子を伺うなどして情報共有しています。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	3	0	4	現在は対象の利用者様はおりませんが、必要に応じて体制を整えます。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	2	2	4	現在の利用者様に対してではありませんが、今後のために園長先生が見学に来られるなど連携を始めたところです。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	3	0	4	まだ対象の利用者様はおりませんが、将来に向けて対象の事業所様と連携を図れるよう交流していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	3	0	4	自治体からの各種研修案内をもとに受講しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	1	4	年に数回ですが、近隣の児童館へ遊びに行く機会を設けています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	0	0	4	名古屋市名東区の自立支援協議会に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	0	4	当日の活動記録を確認し、保護者に適切に事業所の様子を伝えられるように工夫している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	4	0	0	4	保護者様対象のワークショップを行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	0	4	ご契約に説明しております。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	1	0	4	対応できる範囲で対応し、不明確な点に関しては必ず上長に確認をして
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	0	0	4	保護者様対象のワークショップを行い、保護者同士の連携も支援しています。
非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	1	0	4	苦情については速やかに対応し、職員への周知の上、改善して参ります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	0	3	1	4	毎月の行事予定やイベントのご案内などは毎月郵送又は配布しております。会報については定期的に発行できるよう検討致します。
	35	個人情報に十分注意しているか	3	1	0	4	個人情報の取り扱いには十分注意しております。ご契約時に取り扱いの説明と同意の確認をしております。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	1	0	4	視覚で訴える方法、順位付けをするなど、その子に合わせた配慮をしている。必ず子供の良い点を伝えるようにしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	4	0	4	地域イベントへの参加はしておりますが、主催して近隣の方を招待するまでには至っておりません。今後、検討します。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1	0	4	緊急時の対応はご契約の際にお伝えしておりますが、それ以外は現状では保護者様に周知できておりません。職員には定期的に研修等で周知していきます。
非常時等の対応	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	1	0	4	避難訓練を定期的の実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3	1	0	4	虐待防止研修を実施しています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	1	0	4	身体拘束の内容や程度については、まだ擦り合わせができていない保護者様があります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2	0	4	原則アレルギーの可能性のあるものは提供していません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	1	0	4	安全面に関わることについては適宜情報共有をしています。